

特集

まちの活気・笑顔をつくる人たち

NIGIWAI SOZO

にぎわいそうぞう

こんなことを聞いたり、感じたりしたことはありませんか。

「矢板のまちに活気がなくなった」...

それを感じるのは、中心街でシャッターの下りた商店が増えているからですか？

それとも、人と人のつながりが希薄になっているからでしょうか？

今回紹介する4つの団体に共通していることは

それを「**危機感**」として捉え、大好きな矢板に活気を取り戻そうと活動を始めたことです。

地域活性化なんて言葉を聞くと堅苦しい感じがしますが

皆さんは、自分が「**楽しい**」と思うものを「**自分にできる**」範囲で

気の合う「**仲間**」と一緒に活動しています。

その活動で周りの人たちを「**笑顔**」にできるとしたら、ステキなことだと思いませんか？

矢板に「**にぎわいを創造しよう**」と一歩踏み出した

若い人たちの団体にフォーカスして、活動にける思いと活動の様子を紹介します。

イベントで
矢板をもちあげる！

やもり倶楽部



「あんどんまつり」で参加者と一緒に神輿を担ぐ様子（平成28年8月27日撮影）

団体プロフィール

既存の枠に捕らわれず、自由で矢板をもちあげたいと6人の若者が立ち上がった！
仲間が仲間と呼び現在の15人で活動中。
イベントに「プラスα」の魅力を加えてくれるスパイスのような存在です。

☆設立
2010年4月

☆主な活動
・さまざまなイベント会場
でみんながもりあがるような企画を仕掛ける
・道の駅やいたの、震災復興祈願チャリティーイベントに協力

これまでを振り返ってどうですか？

設立から間もなく7年が経ちますが、振り返ると本当に多くのイベントに参加しました。「やもり倶楽部」の名前の由来にもなっている、やいたをもちあげたいという漠然とした思いで農業関係の仕事をしている仲間6人と活動を始めました。現在15人いる仲間の職業はさまざまですが、活動に対する思いや取り組む姿勢は同じ方向を向いていると感じています。

主にどんな活動をしていますか？

市内の主なイベントで会場をもちあげる手助けをしています。イベントに行く度に見掛ける、お祭り好きな若者の集まりみたいなイメージが強いかもしれません。

お祭り好きには間違いないのですが、最低月1で今後の活動方針を話し合ったり、イベントが多い時期は毎週のように集まって打ち合わせを真面目(?)にやっています。それ以外にも数人集まれば居酒屋で飲みながら、これからのことを熱く語ったりもします。お酒の席で出たアイデアから新しいイベントに結び付くなんてこともありました。

今までで思い出に残っているイベントは？

一昨年の軽トラ市に参加した時、作ったおしるこが塩辛かったり、コメを焦がしたり・・・失敗したことも良い思い出としてたまに話に出たりします。

去年は、あんどんまつりで手作りの神輿を子どもたちや「イナツク」の人たちと一緒に担ぎ、若い世代の人と触れ合えたことが良かったです。子どもたちにも伝統文化の良さみたいなものが伝わればうれしいです。

それと、花火大会で仮装大会「やいた de ハロウィン」をほかの青年団体と協働したことでか。実は、青年会議所にいる同級生と飲んでいたり、ハロウィンで何かやりたいねと話が出て、それがきっかけで実際に仮装大会をすることになったいきました。



活動を通じて何か変化を感じますか？

同じような思いを抱いている同世代の仲間と知り合い、そして一緒に活動できることで、自分自身も生活の質が変わったと思います。

ほかには、イベントに来る若い人が増えたなって感じます。若者がイベントに関わっていることが口コミなどで広がり、それが同年代を引き付ける魅力になっているとしたらうれしいですね。

これからの目標は？

矢板をもちあげようとしている団体がほかにもたくさんあるので、協力していきたいですね。いろいろな人・団体とコラボすると活動の幅がもっと広がると思っています。また、これからは自分たちでもイベントを主催して、矢板をもちあげる手助けができればと思います。

3月12日に道の駅やいたで震災復興祈願チャリティーイベントを行うので、ぜひ声を掛けてください。



ボーイ・ガールスカウト &子育て支援「ソフィア」

子どもたちの
可能性を引き出す！



「宝の山発見！宝探しオリエンテーリング」の様子（平成28年11月23日撮影）

団体プロフィール

幅広い世代間交流で子どもたちやみんなの夢を叶え輝ける未来を築くため、「ボーイスカウト」「ガールスカウト」と子育て支援団体「ソフィア」が協力して「世界に羽ばたくプロジェクト」を主催しています。

☆設立
2016年4月

☆主な活動
・月1回、ココマチ2階の「こどものひろば」でイベント・無料学習会を開催
・年数回、不定期でさまざまなイベントを開催

3つの団体が協力して活動するきっかけは？

「ボーイスカウト」「ガールスカウト」「ソフィア」は、共に子どもを健全に育てる、自主性を育むといった活動目的が共通していることから、昨年4月から協力して「世界に羽ばたくプロジェクト」の活動を始めました。3つの団体が協力し合うことで、今までにない新しいイベントを行うことができるようになりました。

定期的に行っている活動は？

ココマチの「こどものひろば」で、毎月趣向を凝らし、恒例の「英語で遊ぼう(^^)」のほか、季節感のあるスイカ割りやクリスマス会、教育者や画伯などその分野で活躍されている方の講話やもの作り、勉強会などのイベントを開催しています。参加したお子さんにとって楽しい、パパ・ママ、おじいちゃん・おばあちゃんにとって子育てのヒントになるような、来て良かったと思えるイベントを目指しみんなでがんばっています。



印象に残ったイベントは？

クリスマス会では、ココマチのキラキラサロンの方も参加して、2歳のお子さんから82歳のおばあちゃんまで、世代を超えて1つになり、「みんなで子育て」を体感していただけたことがうれしかったですね。また、昨年10月にはJリーグ副理事長の原博実さんをお招きして市内外から200人を超えるサッカー少年が参加するイベントを開催できたほか、11月



活動を通して何か感じたことは？

イベントで目をキラキラと輝かせて取り組む子どもたちとうれしそうに見守るご家族にたくさん出会うことができました。子育ての大切さをイベントを通じて伝えられたように感じます。また、運営をお手伝いしている子どもたちも、イベントなどを通じて自らも成長しているようです。3月12日には、こどものひろばでイベントを開催しますので、興味がある方はぜひお越しください。

運営をお手伝いしている子どもたちに聞きました！

豊田 宣鋭くん (11) 人前に立つと初めは緊張しますが、慣れてくると楽しいです。なかなか体験できないことなのでとてもうれしいし、ボーイに入ってよかったです。

江川 佳那さん (17) 参加することで、コミュニケーション能力や心配りの大切さを学ぶことができました。人間的に成長できて感謝しています。

大貫 愛奈さん (19) 自分の得意なことを任せてもらえると自信が付くし、自主性や積極性も身に付けることができました。とても良い経験をすることができました。



活動の様子などは、こちらからご覧ください。

蔵を拠点に
まちづくりを考える！

蔵＊武 Project



「蔵＊武 NIGHT!!」の様子

団体プロフィール

武塾の卒業生が中心となって設立したまちづくり団体。矢板武記念館にある蔵を活動拠点に「人と文化が交わる場所」づくりを目指し、8人のメンバーそれぞれが「得意！」を活かして活動しています。

★設立
2013年4月
★主な活動
・蔵を活用した3つのProject
*「小さな蔵の映画祭」
*「蔵 DE BOOKS」
*「蔵 DE NIGHT!!」を中心に活動

蔵＊武 Project ができたきっかけは？

武塾9期生の研究テーマが矢板武記念館にある蔵を活用したまちの活性化でした。そこで、その9期生のメンバーを中心に「人と文化が交わる場所にしよう！」と立ち上げたのが「蔵＊武 Project」です。

話を聞くと、市内には昔は映画館などもあり、商店街にぎわっていたそうですが、今はまちが味気ないものになりつつあるように感じています。矢板武を始めとする要人が地域発展のために行き交う場所であった矢板武記念館にある2つの蔵を借りて、各種イベントを運営する形でスタートしました。

活動はどのようなことをしていますか？

主に3つの活動をしています。メンバーそれぞれが「好き」なことを生かしイベントを開催しています。



小さな蔵の映画祭

奇数月の最終土曜日 10時から蔵で名画を楽しみます。重厚感ある蔵の壁に反響する音響もおススメです。



蔵 DE BOOKS

趣ある蔵でコーヒ一片手に読書なんていかがですか？本の貸し出しや寄付も受け付けています。不定期で本に関するイベントも開催。



蔵 DE NIGHT!!

毎年9月の最終土曜日に開催。キャンドルの暖かな明かりの下で、あなたの大切な人と過ごす素敵な一夜をどうぞ！

活動の原動力・魅力を教えてください！

以前から矢板のまちがほかと比べて、ちょっと寂しいなと感じていました。大きなことはできないけれど、「自分たちだからこそできることがあるのでは」と考え、活動しています。自分たちがいいなと思っている活動を、イベントに来たお客さんに「素敵だね、がんばってね」と言ってもらえると素直にうれしいし、また頑張ろうというエネルギーになります。イベントに来たお客さんが手伝ってくれたり、共感してくれてメンバーとして参加してくれたりするなど、新たな出会いとつながりが魅力ですね。



私たちの活動を通して小さな新しい「何か」が生まれ、それが周りに広がって、いつか面白いこと・新しいことが次々に起こる素敵なまちになったらいいと思います。イベントに来た子どもたちが、大人になってからも矢板に住み続けたい、矢板に戻ってきたいと思えるような、いい思い出として心に残り続ける、そのような活動をしたいと思っています。

一緒に活動してくれるメンバーを募集しています！

「蔵＊武 Project」では、一人ひとりがいろいろな個性を持っていて、自分にできることをし、できないことを補い合い、お互いの個性を尊重し合いながら活動しています。これを見て、少しでもでも「興味あるかも」と思った方、一緒に活動してみませんか？



3月18日に矢板武記念館で「文学喫茶」というイベントを開催します。蔵の雰囲気を味わいに、ぜひ一度お越しください。

※イベントの詳細はP20をご覧ください。

インターネットテレビ局 やいたっぷるTV



やいたっぷるTV
Yaitapple Internet Television

団体プロフィール

3月1日ココマチに開局したばかりのインターネットテレビ局です。現在、矢板を良くしたいという思いを持った有志20人ほどで活動中。人と人の繋がりを大切に、矢板の魅力を世界に発信しています。

★設立
2017年3月
★主な活動
・インターネット（YouTube）を利用して矢板の魅力やイベント情報を配信
・独自の体験型イベントも企画検討中！

始めようとしたきっかけは？

矢板に元気がない、何とかしたいという思いがありました。インターネットを使って矢板の魅力を発信できれば少しずつでも良くなっていくのではないかと思います。昨年春から準備を始めました。同じような思いを持った人たちがどんどん集まり、3月1日の開局までこぎ着けたところです。

どんなテレビ局にしたいですか？

矢板の認知度アップ、人とまち、伝統、新たな魅力をたっぷり伝える、そんな思いを特産品のリンゴとかけ「やいたっぷるTV」と名付けました。地域で活動しているさまざまな団体の交流の場となり、プラットフォーム的な役割を果たしていけるのではないかと考えています。また、市民参加型のものにする事で、人の繋がりが交流の広がりが相乗効果として生まれることを期待しています。



具体的にどのような取り組みをする予定ですか？

矢板の魅力を発信する番組を、週に5～6本YouTubeで配信していきます。将来的には、FMとちぎで放送している「矢板時間」の収録の様子を撮影した動画配信や市の公式LINE「やいこみゆ」とのコンテンツ連携ができたらと考えています。また、矢板でまちおこしを積極的に行っている団体と連携して情報発信をしていきたいですね。



多彩な番組を放送します。ご期待ください！！



「インフォメーション」チャンネル

イベント告知やイベントの様子を配信するほか、頑張っている地元企業を紹介します。



「スポーツ」チャンネル

スポーツのまち矢板をPRするため、矢板で楽しめるさまざまなスポーツを紹介します。



「やいた酒場」チャンネル

その名のとおり、お酒を飲み交わしながらいろいろな人の話を伺う、市民参加型の番組です。

今後チャンネル数を増やしていく予定です。自分の得意なことを生かせるかも！運営に興味がある！出演したい！そんな方はぜひご連絡ください。問い合わせ／

やいたっぷるTV 代表 大塚理仁
☎ 090-8772-4516



やいたっぷるTV
ホームページ